

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第39期第3四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	クリエートメディック株式会社
【英訳名】	CREATE MEDIC CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 吉野 周三
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理統括部長 佐藤 正浩
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理統括部長 佐藤 正浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第3四半期連結 累計期間	第39期 第3四半期連結 累計期間	第38期
会計期間	自 平成23年 1月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成24年 1月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成23年 1月1日 至 平成23年 12月31日
売上高(千円)	6,496,475	6,478,824	9,325,368
経常利益(千円)	478,012	385,301	982,630
四半期(当期)純利益(千円)	330,199	196,501	583,382
四半期包括利益又は包括利益(千円)	270,804	191,579	566,928
純資産額(千円)	10,710,971	10,880,327	11,006,122
総資産額(千円)	14,563,635	15,799,926	15,255,244
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	34.34	20.43	60.66
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	73.5	68.9	72.1

回次	第38期 第3四半期連結 会計期間	第39期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成23年 7月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成24年 7月1日 至 平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	4.65	1.45

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第38期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の財政問題に伴う海外経済の減速、中国での景気拡大の鈍化や長引く円高の影響などにより、景気が足踏みの状態となっております。

当医療機器業界におきましては、本年4月に改定された診療報酬は全体では現状維持の水準となりましたが、医科材料の価格は引き下げられており、業界をとりまく環境は依然として厳しい状態が続いております。

当第3四半期連結累計期間は、売上面では主力製品の国内での販売強化と中国・欧州における海外での販売活動に重点をおいてまいりました。また、利益面については、部資材の内製化を進めるなど一層の原価低減に努めるとともに、販売管理費の削減も行ってまいりました。

売上を販売形態別に見ますと、まず自社販売では診療報酬改定による売価下落の影響や新製品発売が計画よりも遅れたことにより4,580百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

系統別の内訳では、泌尿器系はフォーリートレイキット、セフティカテ（自己導尿カテーテル）、採尿バッグなどの数量は増加しましたが、全般的に価格下落の影響で減少しました。消化器系では、イレウスチューブの数量は増加したものの、胃瘻関連の製品とともに価格下落の影響を大きく受けて減少しました。外科系では内視鏡下手術関連製品や気管切開チューブが順調に増加しました。血管系ではマイクロカテーテルや心血管アンギオカテーテルが単価下落の影響を受けて減少しました。看護・検査系他では組織採取用の製品は順調に増加しましたが、注腸検査用のチューブやドレープ系製品が減少しました。

OEM販売では気管切開チューブと一部の血管造影関連製品の受注が伸びたことにより1,195百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

海外販売等ですが、欧州では円高や経済減速の影響を受けて全系統で減少しました。また、中国での販売は泌尿器系の製品が大きく増加するとともに、循環器系製品の追加投入も寄与したことにより前年同期比で5割近く増加しました。その結果、売上は702百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

また、製品系統別の実績では泌尿器系製品は1,720百万円（前年同期比1.3%増）、消化器系製品は2,228百万円（前年同期比5.6%減）、外科系製品は802百万円（前年同期比7.0%増）、血管系製品は1,170百万円（前年同期比1.4%増）、看護・検査系他製品は556百万円（前年同期比4.1%増）となっております。

一方、利益面につきましては、主に自社販売の売上不足による利益の減少、海外工場の投資負担および人件費などの増加が影響いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高6,478百万円（前年同期比0.3%減）、売上総利益3,013百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益391百万円（前年同期比24.9%減）、経常利益385百万円（前年同期比19.4%減）、四半期純利益196百万円（前年同期比40.5%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して544百万円増加し、15,799百万円となりました。これは、現金及び預金の減少768百万円に対して、商品及び製品の増加355百万円、ベトナムクリエートメディック有限会社の工場建設等に伴う建設仮勘定の増加399百万円、国債の取得による投資有価証券の増加699百万円が主な要因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して670百万円増加し、4,919百万円となりました。これは、短期借入金の減少271百万円や未払法人税等の減少155百万円に対して、賞与引当金の増加133百万円や長期借入金の増加976百万円が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して125百万円減少し、10,880百万円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加196百万円に対して、配当による利益剰余金の減少317百万円が主な要因です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、261百万円となっております。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	9,664,327	9,664,327	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	9,664,327	9,664,327	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	9,664,327	-	1,461,735	-	1,486,022

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 47,500	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,606,100	96,061	同上
単元未満株式	普通株式 10,727	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,664,327	-	-
総株主の議決権	-	96,061	-

(注)「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式99株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
クリエートメディック株式会社	横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号	47,500	-	47,500	0.49
計	-	47,500	-	47,500	0.49

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,550,554	2,782,275
受取手形及び売掛金	3,376,967	3,193,232
有価証券	310,000	310,000
商品及び製品	1,155,519	1,510,603
仕掛品	582,737	587,541
原材料及び貯蔵品	457,901	505,110
繰延税金資産	102,653	171,229
その他	83,730	171,659
貸倒引当金	1,000	1,000
流動資産合計	9,619,064	9,230,652
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,613,859	1,533,303
機械装置及び運搬具(純額)	303,536	291,109
土地	1,485,088	1,485,088
リース資産(純額)	63,262	46,050
建設仮勘定	192,970	592,041
その他(純額)	131,832	124,714
有形固定資産合計	3,790,549	4,072,308
<b>無形固定資産</b>		
借地権	132,374	132,934
その他	31,257	24,592
無形固定資産合計	163,632	157,526
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,129,916	1,829,719
繰延税金資産	406,481	368,266
その他	150,236	143,961
貸倒引当金	4,636	2,510
投資その他の資産合計	1,681,997	2,339,437
固定資産合計	5,636,179	6,569,273
資産合計	15,255,244	15,799,926

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	992,795	1,085,499
短期借入金	1,316,028	1,045,000
1年内返済予定の長期借入金	77,753	-
リース債務	23,668	20,487
未払法人税等	162,629	7,223
賞与引当金	29,585	163,028
役員賞与引当金	12,400	9,300
その他	439,129	394,503
流動負債合計	3,053,989	2,725,042
固定負債		
長期借入金	-	976,000
リース債務	42,756	27,865
退職給付引当金	981,095	1,007,139
役員退職慰労引当金	168,361	180,585
その他	2,918	2,966
固定負債合計	1,195,132	2,194,556
負債合計	4,249,121	4,919,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	8,331,540	8,210,689
自己株式	34,359	34,381
株主資本合計	11,244,938	11,124,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,614	13,036
為替換算調整勘定	252,430	256,774
その他の包括利益累計額合計	238,815	243,738
純資産合計	11,006,122	10,880,327
負債純資産合計	15,255,244	15,799,926

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,496,475	6,478,824
売上原価	3,389,595	3,465,775
売上総利益	3,106,879	3,013,048
販売費及び一般管理費	2,585,044	2,621,391
営業利益	521,835	391,656
営業外収益		
受取利息	4,223	7,321
受取配当金	1,535	1,943
保険金収入	-	31,949
金利スワップ評価益	2,258	-
その他	10,498	16,642
営業外収益合計	18,514	57,857
営業外費用		
支払利息	10,940	13,369
手形売却損	1,986	150
為替差損	37,356	45,214
金利スワップ評価損	-	1,138
開業費	10,517	-
その他	1,536	4,339
営業外費用合計	62,337	64,212
経常利益	478,012	385,301
特別利益		
固定資産売却益	24	-
貸倒引当金戻入額	8,000	-
損害賠償金収入	82,948	-
特別利益合計	90,972	-
特別損失		
災害による損失	3,144	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,604	-
特別損失合計	4,749	-
税金等調整前四半期純利益	564,235	385,301
法人税、住民税及び事業税	289,673	218,987
法人税等調整額	55,637	30,187
法人税等合計	234,036	188,800
少数株主損益調整前四半期純利益	330,199	196,501
四半期純利益	330,199	196,501

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	330,199	196,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,151	578
為替換算調整勘定	54,242	4,343
その他の包括利益合計	59,394	4,922
四半期包括利益	270,804	191,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,804	191,579
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
減価償却費	172,606千円	193,364千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月30日 定時株主総会	普通株式	173,102	18	平成22年12月31日	平成23年3月31日	利益剰余金
平成23年8月4日 取締役会	普通株式	144,251	15	平成23年6月30日	平成23年9月6日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	173,101	18	平成23年12月31日	平成24年3月30日	利益剰余金
平成24年8月6日 取締役会	普通株式	144,250	15	平成24年6月30日	平成24年9月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

当社グループはディスポーザブルカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	34円34銭	20円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	330,199	196,501
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	330,199	196,501
普通株式の期中平均株式数(株)	9,616,776	9,616,735

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第39期(平成24年1月1日から平成24年12月31日まで)中間配当については、平成24年8月6日開催の取締役会において、平成24年6月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 144,250千円

1株当たりの金額 15円00銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成24年9月10日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

クリエートメディック株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 野島 透 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中村 宏之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柴田 叙男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクリエートメディック株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クリエートメディック株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。